



中国からのジャイアントパンダ誘致は 本当に必要なのか!?

外交上の重大問題があり、経費と経済効果も不明確??

令和5年11月22日、郡市長は、中国国家主席に最大の礼を尽くしたパンダ誘致の親書を送りました。

昨年12月定例会
会派代表質疑の
模様



定例会(令和5年12月)における質疑で明らかになった現在の状況と懸念(問題点)

外交の問題

- 中国政府は、我が国固有の領土である尖閣諸島の領有権を主張
- 尖閣諸島への領海侵入を繰り返し、周辺での活動は過去最大を記録
- 日本の排他的経済水域(EEZ内)に無断で海上ブイを設置して撤去を拒否
- 福島第一原発ALPS処理水の海洋放出を理由に日本の水産物を全面輸入禁止
- 国連も指摘しているウイグルなどでの重大な人権問題も看過できない状態
- 昨年3月にも邦人社員が拘束され、複数の日本人がいまだに帰国できず

導入・経営の懸念

- 維持経費等が大きい(海外・上野動物園の例)
 - ・ 中国に支払うレンタル代 つかいで年間約1.5億円
 - ・ 輸送費 約4,000万円
 - ・ 4頭分の2ヶ月分のえさ代 約1,400万円
 - ・ 亡くなった場合等の為の損害賠償 保険年間数千万円?
- パンダ舎の建設費 22億円?
 - ※えさ代の高騰などで、アメリカ、イギリス、和歌山、上野の動物園でもジャイアントパンダを次々に返還
- 旧・ジャニーズ事務所からの支援金をいただくことは、今、適切か

理解に苦しむ郡市長の親書

- 郡市長から習近平国家主席への親書には、
 - 「東北復興」のため
 - 「私たちに癒しを与えることから願い〜招へいを強く希望」
 - 「本市109万市民はもとより、東北一円の皆様が心待ちにしております」
- などと書き連ねていますが、市民と議会には多くの懸念と反対の声があります。中国の力による暴挙で我が国の平和と安全が脅かされているのに、なぜ今、親書なのか? 科学的根拠に欠ける禁輸の嫌がらせでむしろ東北の復興が妨げられています。

東北を代表したようなパンダ招への親書ですが、周辺の自治体にさえ相談していません。郡市長は、パンダを利用した中国の外交戦略に勝手に進んで協力しているのです。

ジャイアントパンダそのものが悪いものではありません。しかし、現在の中国をめぐる緊迫した情勢の中、本当にパンダは必要性があるのか、すべてのバランスを考えるべきです。

多くの問題を抱える国から、経済効果が不確実で、様々なリスクがあるにもかかわらず、有償で、しかもいわくつきのお金をいただいて誘致しなくても、旭山動物園や東山動植物園のように、市民が楽しめる動物公園をつくる、知恵と工夫はたくさんあるのです。

⇒市長は明確な積算を示さず、質問をはぐらかすような答弁を繰り返しました。

